

札幌市福祉のまちづくり条例施行規則の一部改正(素案)に対する
御意見の概要と札幌市の考え方(キッズコメント(小学4年生))

1 御意見募集の実施概要

- (1) 意見募集期間
令和5年(2023年)11月13日(月)から令和5年(2023年)11月27日(月)まで
- (2) 意見提出方法
郵送、ファクス、持参又は電子メール
- (3) 配布資料
札幌市福祉のまちづくり条例施行規則の一部改正(素案)
- (4) 資料の配布先
市内の小学4年生

2 提出者及び御意見の内訳

- (1) 提出者数及び御意見の件数
 - ア 意見者数 24人
 - イ 御意見の件数 42件
- (2) 提出方法
 - ア 持参 0人
 - イ 電子メール 11人
 - ウ ファクス 1人
 - エ 郵送 12人

3 御意見の概要と市の考え方

御意見の概要	市の考え方
・音の出る信号機や点字ブロックや点字を増やしてほしい。 ・盲導犬が入ってよい店や施設を増やしてほしい。 <div style="text-align: right;">【類似意見:3件】</div>	音の出る信号機や点字ブロック、盲導犬連れでも入れる施設を増やすことはとても重要なことです。目の不自由な方にとって、住みやすい社会のための取組を進めていきます。
・電光掲示板(文字による連絡方法)を増やしてほしい。 ・「耳マーク」などが広まるといいと思う。	電光掲示板を増やすことや、耳マークの普及をすることはとても重要なことです。耳の不自由な方にとって、住みやすい社会のための取組を進めていきます。
・介助犬が入っていい店や施設を増やしてほしい。 ・スロープやエレベーターが増えるといい。 <div style="text-align: right;">【類似意見:2件】</div>	介助犬連れでも入れる施設やスロープ・エレベーターの設置することはとても重要なことです。足の不自由な方にとって、住みやすい社会のための取組を進めていきます。

<ul style="list-style-type: none"> ・白杖や車いすが簡単にいろんな所でレンタルできるような町がいい。 ・町内会などで、白杖や車いすの使い方などの講習があるといい。 ・ボタンが設置されていて、困ったらすぐに呼べるようにしておくといい。 	<p>白杖や車いすのレンタル、講習会の開催、呼び出しボタンの設置することなどはとても重要なことです。障がいのある方や高齢の方などすべての人にとって、住みやすい社会のための取組を進めていきます。</p>
<p>障がいのある人といっしょに、遊べるようなイベントや障がい者サポート体験などがあればいいと思う。</p> <p style="text-align: right;">【類似意見:1件】</p>	<p>とても良いアイデアだと思います。今後皆さんの意見をいただきながら、企画を考えていきたいと思います。</p>
<p>障がいがある人も障がいがない人と同じように考え、障がいがあっても、差別や偏見の目で見たりしないよう、市民に理解してもらう必要があると思う。</p>	<p>障がいのある方や高齢の方などに対する偏見や無理解といった、心の中にある見えない壁(バリア)をなくして、思いやりや行動を起こすことはとても重要なことです。</p> <p>ぜひ心のバリアフリーについてまわりの人たちにも広めてください。</p>
<p>障がいのある方にとって、もっと自由に働けるような環境づくりが必要だと思う。</p>	<p>障がいのある方にとって、やりがいを持って働ける環境づくりのための取組を進めていきます。</p>
<p>地下鉄のエレベーター付近に車が停める場所があると、車いすの方や、体が不自由な方も乗降することができ、とても助かると思う。</p>	<p>駅周辺における障がい者用乗降場について、皆さんの意見をいただきながら、検討していきたいと思います。</p>
<p>障がいのある方や高齢の方が安心して快適に暮らせるためには、バリアフリーを進めていくことがとても大切なことだと思う。</p> <p style="text-align: right;">【類似意見:1件】</p>	<p>札幌市では、共生社会の実現に向けて、ハード面やソフト面におけるバリアフリーの浸透に向けた取組を行っており、今後も継続してまいります。</p>